

## 平成24年産水稻の品種別作付動向について

当機構では、米の生産にかかる基礎的な資料を整備する観点から、道府県行政等から情報提供をいただき、平成24年産水稻の品種別の作付割合を取りまとめました。概要は次のとおりです。

### 【調査概要】

- 平成24年産主食用米において、全国で最も作付が多かった品種は「コシヒカリ」（作付割合37.5%）でした。  
2位は「ひとめぼれ」（同9.8%・前年3位）、3位「ヒノヒカリ」（同9.5%・前年2位）、4位「あきたこまち」（同7.3%）、5位「キヌヒカリ」（同3.1%）でした。
- 主食用米の作付割合上位10品種が全体に占める割合は77.6%、上位20品種では86.2%でした。
- 道府県ごとの品種別の作付割合については、道府県に聞き取った数値及び種子流通量をもとに当機構が独自に算出した数値を使用しています。
- BL、SL等の品種については、以下のとおり整理して集約しています。

品種名		集約した品種名
コシヒカリ新潟BL	⇒	コシヒカリ
あいちのかおりSBL	⇒	あいちのかおり
ハツシモ岐阜SL	⇒	ハツシモ
ササニシキBL	⇒	ササニシキ
コシヒカリ富山BL	⇒	その他

- 平成24年産は、参考として醸造用米及びもち米についても作付上位の品種を掲出しています。

本件に関するお問い合わせ先

〒103-0001  
東京都中央区日本橋小伝馬町15-15  
公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部  
Tel.03-4334-2161、担当：馬場 藤原 小野塚

平成24年産水稲の品種別作付割合上位20品種（主食用米）

単位：％

順位	品種名	作付割合	主要産地	前年産の順位
1	コシヒカリ	37.5	新潟、茨城、栃木	1
2	ひとめぼれ	9.8	宮城、岩手、福島	3
3	ヒノヒカリ	9.5	熊本、福岡、鹿児島	2
4	あきたこまち	7.3	秋田、茨城、岩手	4
5	キヌヒカリ	3.1	兵庫、滋賀、埼玉	5
6	ななつぼし	3.0	北海道	6
7	はえぬき	2.7	山形	7
8	まっしぐら	1.8	青森	9
9	きらら397	1.8	北海道	8
10	あさひの夢	1.4	栃木、群馬	11
上位10品種の合計		77.6		
11	つがるロマン	1.3	青森	10
12	こしいぶき	1.3	新潟	12
13	あいちのかおり	1.1	愛知	13
14	夢つくし	0.9	福岡	14
15	ゆめぴりか	0.8	北海道	16
16	彩のかがやき	0.8	埼玉	15
17	ハツシモ	0.6	岐阜	17
18	ハナエチゼン	0.6	福井	19
19	つや姫	0.6	山形、宮城	30
20	きぬむすめ	0.5	島根、兵庫、山口	22
上位20品種の合計		86.2		

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

道府県別、平成24年産水稻の作付上位品種(主食用米)

単位: %

道府県	種類別割合			主食用米の作付順位(道府県面積に占める割合)						
	主食用米	醸造用米	もち米	1位		2位		3位		3品種合計
				品種	割合	品種	割合	品種	割合	
北海道	92.4	0.2	7.4	ななつぼし	43	きらら397	25	ゆめぴりか	12	80
青森	98.2	0.5	1.3	まっしぐら	57	つがるロマン	43			99
岩手	94.4	0.4	5.2	ひとめぼれ	74	あきたこまち	16	いわてっこ	8	98
宮城	96.3	0.2	3.5	ひとめぼれ	80	ササニシキ	9	まなむすめ	6	95
秋田	95.6	0.5	3.9	あきたこまち	79	ひとめぼれ	9	めんこいな	6	94
山形	95.5	1.4	3.2	はえぬき	60	ひとめぼれ	12	つや姫	10	82
福島	95.3	0.3	4.4	コシヒカリ	67	ひとめぼれ	25	あきたこまち	3	95
茨城	97.1	0.1	2.8	コシヒカリ	79	あきたこまち	12	ゆめひたち	4	94
栃木	97.8		2.2	コシヒカリ	75	あさひの夢	17	なすひかり	6	86
群馬	97.8	0.1	2.1	あさひの夢	39	コシヒカリ	23	ゴロピカリ	17	79
埼玉	100.0			コシヒカリ	39	彩のかがやき	33	キヌヒカリ	15	86
千葉	96.3		3.7	コシヒカリ	72	ふさおとめ	11	ふさこがね	9	91
神奈川	96.1	1.3	2.6	キヌヒカリ	72	さとじまん	15	コシヒカリ	7	94
新潟	92.0	2.0	6.0	コシヒカリ	77	こしいぶき	17	ゆきん子舞	2	96
富山	94.8	2.1	3.1	コシヒカリ	83	てんたかく	10	てんこもり	3	97
石川	96.4	0.7	2.9	コシヒカリ	76	ゆめみづほ	15	能登ひかり	3	94
福井	94.8	3.5	1.8	コシヒカリ	56	ハナエチゼン	30	あきさかり	9	96
山梨	97.2	0.6	2.2	コシヒカリ	70	あさひの夢	8	ひとめぼれ	6	84
長野	96.0	2.0	2.0	コシヒカリ	76	あきたこまち	14	キヌヒカリ	3	93
岐阜	94.3	0.7	5.0	ハツシモ	38	コシヒカリ	33	ひとめぼれ	8	79
静岡	95.6	0.3	4.1	コシヒカリ	47	あいちのかおり	23	キヌヒカリ	18	87
愛知	98.9	0.1	1.0	あいちのかおり	43	コシヒカリ	25	ミネアサヒ	5	72
三重	97.7	0.3	2.0	コシヒカリ	79	キヌヒカリ	11	みえのゆめ	3	93
滋賀	96.3	0.6	3.1	コシヒカリ	41	キヌヒカリ	26	日本晴	11	78
京都	96.5	1.1	2.4	コシヒカリ	56	キヌヒカリ	23	ヒノヒカリ	15	94
大阪	97.7	-	2.3	ヒノヒカリ	74	キヌヒカリ	13	きぬむすめ	13	99
兵庫	87.2	11.0	1.9	コシヒカリ	38	キヌヒカリ	23	ヒノヒカリ	21	82
奈良	99.1	0.0	0.9	ヒノヒカリ	71	ひとめぼれ	9	キヌヒカリ	6	86
和歌山	98.5		1.5	キヌヒカリ	45	イクヒカリ	14	コシヒカリ	9	68
鳥取	96.4	1.1	2.6	コシヒカリ	53	ひとめぼれ	35	きぬむすめ	5	93
島根	95.1	0.9	4.1	コシヒカリ	70	きぬむすめ	23	ハナエチゼン	4	97
岡山	94.7	1.8	3.5	アケボノ	21	ヒノヒカリ	20	あきたこまち	17	58
広島	94.4	1.9	3.7	コシヒカリ	46	ヒノヒカリ	22	あきろまん	10	78
山口	97.5		2.5	コシヒカリ	32	ひとめぼれ	27	ヒノヒカリ	26	84
徳島	95.1	2.0	2.9	コシヒカリ	49	キヌヒカリ	32	ヒノヒカリ	7	88
香川	98.2		1.8	ヒノヒカリ	49	コシヒカリ	38	はえぬき	5	92
愛媛	98.4		1.6	ヒノヒカリ	33	コシヒカリ	30	あきたこまち	26	89
高知	97.4	0.3	2.3	コシヒカリ	54	ヒノヒカリ	29	にこまる	2	85
福岡	96.1	0.8	3.1	ヒノヒカリ	43	夢つくし	38	元気つくし	14	94
佐賀	74.6	0.4	25.0	夢しずく	30	ヒノヒカリ	27	さがびより	23	80
長崎	96.9	0.4	2.7	ヒノヒカリ	63	にこまる	17	コシヒカリ	13	93
熊本	92.0	0.0	8.0	ヒノヒカリ	55	コシヒカリ	13	森のくまさん	12	80
大分	98.2		1.8	ヒノヒカリ	77	ひとめぼれ	12	コシヒカリ	4	93
宮崎	98.7	0.1	1.3	ヒノヒカリ	53	コシヒカリ	41	まいひかり	3	97
鹿児島	98.0	-	2.0	ヒノヒカリ	63	コシヒカリ	18	あきほなみ	9	91
沖縄	99.2	0.2	0.6	ひとめぼれ	89	ちゅらひかり	8	ミルクキーン	1	98
全国計	95.2	0.9	3.9							

注 1) 道府県への聞き取り及び種子流通量をもとにした推計による。

2) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

3) 栃木、千葉、和歌山、山口、香川、愛媛、大分県は、醸造用米(網掛け部分)を区分して面積が把握できず、主食用米に包含されている。

4) 埼玉県は、醸造用米及びもち米(網掛け部分)を区分して面積が把握できず、主食用米に包含されている。

(参考1)

醸造用米

## 道府県別、平成24年産水稻の作付上位品種(醸造用米)

単位:%

道府県	全国の醸造用米作付面積に占める割合	醸造用米の作付順位(道府県面積に占める割合)						
		1位		2位		3位		割合
		品種	割合	品種	割合	品種	割合	
北海道	1.5	吟風	80	彗星	20	-	-	100
青森	1.6	華吹雪	80	華想い	20	-	-	100
岩手	1.5	吟ぎんが	75	ぎんおとめ	25	-	-	100
宮城	1.1	蔵の華	83	美山錦	17	-	-	100
秋田	3.4	美山錦	53	秋田酒こまち	47	-	-	100
山形	6.2	出羽燦々	30	美山錦	12	出羽の里	5	47
福島	1.4	五百万石	67	夢の香	33	-	-	100
茨城	0.3	ひたち錦	46	美山錦	34	五百万石	12	92
群馬	0.1	若水	82	舞風	18	-	-	100
神奈川	0.3	山田錦	80	若水	20	-	-	100
新潟	16.0	五百万石	100	2位以下の品種は、主食用米に含まれる				100
富山	5.6	五百万石	89	雄山錦	6	富の香	2	98
石川	1.2							
福井	6.3							
山梨	0.2	ひとごち	35					35
長野	4.7							
岐阜	1.2	ひだほまれ	100	-		-	-	100
静岡	0.3							
愛知	0.2	夢山水	33	若水	33			67
三重	0.6	山田錦	73	神の穂	17	五百万石	9	100
滋賀	1.3	玉栄	33	吟吹雪	33			67
京都	1.2	祝	54	五百万石	39			93
兵庫	28.7	山田錦	86	五百万石	4	兵庫夢錦	3	93
奈良	0.0	露葉風	100	-	-	-	-	100
鳥取	1.0							
島根	1.1							
岡山	4.1	雄町	62	山田錦	38	-	-	100
広島	3.3	八反錦1号	57	八反35号	28	千本錦	9	95
徳島	1.8							
高知	0.3	吟の夢	75	土佐錦	13	風鳴子	6	94
福岡	2.1	山田錦	63	夢一献	37	-	-	100
佐賀	0.7	山田錦	64	さかの華	34	西海134号	2	100
長崎	0.4	レイホウ	81	山田錦	19	-	-	100
熊本	0.1	山田錦	100	2位以下の品種は、主食用米に含まれる				100
宮崎	0.1	はなかぐら	29					29
沖縄	0.0	楽風舞	100	-	-	-	-	100
合計	100.0							

注 1) 道府県への聞き取り及び種子流通量をもとにした推計による。

2) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

3) 網掛けは、品種別に把握できなかったところ。

## 道府県別、平成24年産水稻の作付上位品種(もち米)

単位:%

道府県	全国のもち米 作付面積に占 める割合	もち米の作付順位(道府県面積に占める割合)						
		1位		2位		3位		合計
		品種	割合	品種	割合	品種	割合	
北海道	12.2	はくちょうもち	38	風の子もち	37	きたゆきもち	24	100
青森	1.0	あかりもち	54	アネコモチ	46	-	-	100
岩手	4.6	ヒメノモチ	63	もち美人	15	カグヤモチ	12	90
宮城	4.0	みやこがねもち	97	ヒメノモチ	2	もちむすめ	2	100
秋田	5.7	たつこもち	66	きぬのはだ	34	-	-	100
山形	3.4	ヒメノモチ	74	でわのもち	12	こゆきもち	6	92
福島	4.7	こがねもち	80	ヒメノモチ	20	-	-	100
茨城	3.5	マンゲツモチ	84	ヒメノモチ	10	ココノエモチ	6	99
栃木	2.3							
群馬	0.6	群馬糯5号	57	ヒメノモチ	5	まんぷくもち	5	67
千葉	3.6							
神奈川	0.1	喜寿糯	77	マンゲツモチ	16			92
新潟	11.5							
富山	2.0	新大正糯	74	とみちから	14	こがねもち	2	91
石川	1.3							
福井	0.8							
山梨	0.2	マンゲツモチ	43	こがねもち	21			63
長野	1.1							
岐阜	2.0	たかやまもち	67	モチミノリ	20	ココノエモチ	5	92
静岡	1.1							
愛知	0.5							
三重	1.0							
滋賀	1.7	滋賀羽二重糯	94					94
京都	0.6							
大阪	0.2							
兵庫	1.2	はりまもち	31	ヤマフクモチ	20	マンゲツモチ	16	68
奈良	0.1	旭糯	44	ココノエモチ	23			68
和歌山	0.2	もちみのり	82					82
鳥取	0.6							
島根	1.3							
岡山	1.8	ヒメノモチ	40	ココノエモチ	37			77
広島	1.6	ヒメノモチ	50	ココノエモチ	42	タンチョウモチ	8	100
山口	0.9							
徳島	0.6							
香川	0.4							
愛媛	0.4	クレナイモチ	67	モチミノリ	33	-	-	100
高知	0.5	たまひめもち	15	サイワイモチ	10	ヒデコモチ	8	33
福岡	2.0	ヒヨクモチ	100	-	-	-	-	100
佐賀	10.8	ヒヨクモチ	98	ヒデコモチ	1			99
長崎	0.6	ヒヨクモチ	23	サイワイモチ	11	モチミノリ	8	42
熊本	6.2	ヒヨクモチ	91	峰の雪もち	2			93
大分	0.5							
宮崎	0.4	クスタマモチ	56	いわともち	13	峰の雪もち	1	70
鹿児島	0.8	峰の雪もち	50	サイワイモチ	50	-	-	100
沖縄	0.0	ゆがふもち	34					34
合計	100.0							

注 1) 道府県への聞き取り及び種子流通量をもとにした推計による。

2) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

3) 網掛けは、品種別に把握できなかったところ。